

目次

巻頭言 『国文学』 一〇〇号を記念して	山本卓	1
関西大学 『国文学』 一〇〇号の歩み		
国文学（上代）	乾善彦	1
国文学（中古）	田中登	4
国文学（中世）	関屋俊彦	7
国文学（近世）	山本卓	11
国文学（近現代）	浦西和彦	15
国語学	遠藤邦基	18
関西大学 『国文学』 一〇〇号に寄せて		
古語雑感	木下正俊	21
「国文学」誌、第一〇〇号の刊行に寄せて	中野眞作	26
北尾雪坑斎の絵本	肥田皓三	27
初めての寄稿	水田紀久	28
「名」にちなむ詩歌——『文華秀麗集』「燕」詩群の背景——	山本登朗	31
伝藤原為家筆野路切『古今和歌集』考——資料集成と本文系統をめぐって——	寺田伝	41

歌人・元方の評価に関する一考察	坂本美樹	53
資経本『貫之集』の位置付け——承空本との関わりにおいて	北井佑実子	69
小松切『拾遺抄』の性格	立石大樹	83
土佐日記の歌論——人物描写という方法	北島 紬	95
伝冷泉為秀筆物語切の書写内容	中葉芳子	113
——付・中世『源氏物語』梗概本古筆切集成 補訂版——		
伊勢神宮奉納百首の諸相	福留瑞美	125
成菩提院所蔵「題未詳聖教」紹介——伝存聖教から柏原談義所を復元する	大鳥 薫	137
新蔵生田文庫所蔵『大西閑雪会員名簿』について	関屋俊彦	145
「未来記」俳諧新論	藤田真一	159
翻刻『忠臣規矩順従録』(二)	山本 卓	179
『撰津名所図会』の利用法——大田南畝の名所見物	中尾和昇	237
俳諧における驢馬——旅する詩人の肖像	中村真理	257
芭蕉発句の中国語訳試論——二句四言への翻訳嘗試	胡 文海	277

坂口禰子と戦争——「灯」を通して——	彭妍	299
司馬遼太郎「倉敷の若旦那」論——その語りと登場人物の創出——	森瑠偉	311
司馬遼太郎『草原の記』論	薩仁珠格	329
近世初期俳諧における音象徴語	田中巳榮子	355
書評 関屋俊彦著『続狂言史の基礎的研究』	稲田秀雄	381
関西大学『国文学』第一号—第九十九号 総目次		387
関西大学国文学会彙報		419
昭和3年の大阪毎日新聞社「字音仮名遣ひ対照表」	井口佳重	(1)
弔辞における霊魂への呼びかけの変遷	利岡真帆	(25)
方言談話における対称詞の使用量の地域差	山本空	(47)
甌島平良方言の敬語	森勇太	(65)
近畿中央部方言におけるシテイル相当形式の動態	日高水穂	(85)

——現在形と過去形の非対称現象をめぐって——